

1 研究の優れている点

- **継続性**
 - ・ 昨年度までの課題に基づいた研究の方向性の明確化
- **先進性**
 - ・ 「主体的な学び」, 特に「学習意欲」に関連付けた課題の整理
- **信頼性**
 - ・ 「振り返り」及び「コミュニケーション」の二つの視点からの研究仮説の検証

2 研究との関連事項 (1)

学習意欲の高まりと学習内容の定着

学習の定着
学習意欲の高まり

主体的な学び

ICT機器

ICT機器

個に応じたきめ細やかな指導

一人一人の興味・関心

一人一人の理解の仕方

参考: 文部科学省 (平成26年) : 『学びのイノベーション事業 実証研究報告書』

2 研究との関連事項 (2)

特別支援教育におけるICT活用の可能性

一人一人の障害の状態や特性、発達の段階等を踏まえ、個々の教育的ニーズに即した適切なICT機器を活用することは、**各教科等の指導の効果を高めることができる点で有用**

学習上又は生活上の様々な状況に応じて、各種のICT機器を活用できるようになることは、**将来の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点からも重要**

参考: 文部科学省 (平成28年) : 『2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会 (最終まとめ)』

2 研究との関連事項 (3)

これまでの教育の情報化の課題

- 学習指導要領と関連付けて、どのような資質・能力の育成に効果的かなどの点について、**十分な検証がなされていない。**
- **実践事例がICTを活用した授業モデルの構築につながっていない。**

実践を基にした十分な検証が必要

参考: 文部科学省 (平成28年) : 『2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会 (最終まとめ)』

3 今後に期待すること (1)

児童生徒側からの発信を補助できるツールとしての活用

日々の取組	これからの学び
ICT機器を効果的に活用する → より効果的な学習支援につなぐ	ICT機器の活用主体が児童生徒となる → 発信を補助できるツールとして役立てる

参考: 文部科学省 (平成25年) : 『障害のある児童生徒の教材の充実について 報告』
笹方真佑・山中智子・高橋信司・森和也 (2015) : 『特別支援教育におけるICTの活用についての研究』
文部科学省 (平成23年) : 『教育の情報化ビジョン』

3 今後に期待すること (2)

将来の児童生徒の自立と社会参加の促進

児童生徒の学びの充実

ICT機器の効果的な活用

目標達成の手立てとしてのICT機器の活用	いつでも活用できる環境整備
教員間での活用に係る情報共有	ICTのメリット・デメリットの把握

参考: 文部科学省 (平成26年) : 『学びのイノベーション事業 実証研究報告書』
文部科学省 (平成25年) : 『障害のある児童生徒の教材の充実について 報告 (概要)』